



平成 28 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ミズホメディー
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 唐川 文成
(コード番号：4595 東証 J A S D A Q)
問 合 せ 先 取締役経理部長兼総務部担当 佐々木 寛
(電話番号：0942-85-0303)

上場調達資金の支出予定時期の変更に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 12 日付「有価証券届出書」、平成 27 年 11 月 26 日付及び平成 27 年 12 月 7 日付「有価証券届出書の訂正届出書」並びに平成 27 年 12 月 22 日付「第三者割当増資の結果に関するお知らせ」において調達資金の使途である設備（遺伝子検査システムの生産設備及び新規製造工場）の新設計画について公表いたしました。本日開催の取締役会において、下記のとおり当該設備の新設計画の延期を決議し、上場調達資金の支出予定時期が変更となりましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の内容

	変更前	変更後
遺伝子検査システムの生産設備		
支出予定	平成 28 年 12 月期	平成 28 年 12 月期～ 平成 31 年 12 月期
着手	平成 28 年 1 月	平成 28 年 7 月
完了予定	平成 29 年 1 月	平成 31 年 3 月
遺伝子検査システムの新規製造工場		
支出予定	平成 28 年 12 月期	平成 30 年 12 月期
着手	平成 28 年 7 月	平成 30 年 4 月
完了予定	平成 28 年 12 月	平成 30 年 12 月

2. 変更の理由

当社は、病院・開業医など医療機関における体外診断用医薬品に関するニーズをモニタリングするとともに、新規診断技術に関する国内外の競合企業の動向についても情報収集に努め、新技術や新製品の開発及び製品の改善改良に生かしております。

現在開発中の遺伝子検査システムにつきまして、開発期間中に得た競合企業の開発情報等に基づき、現設計仕様を変更して迅速性をさらに向上する必要があること、また、遺伝子検査に対するニーズの変化に伴い、開発対象とする検査項目において他社先発品との差別化をより強化するべきと判断したことから、開発期間を延長し、厚生労働省への製造販売承認申請の時期を変更することといたしました。

開発の進捗状況につきましては、現在、製造販売承認申請の準備段階に入っており、申請後の審査期間は約 1 年と見込んでおります。

なお、製品の生産につきましては、まずは現工場で生産を開始することとし、初期の生産実績から得られた情報を分析・検証することによって設備投資リスクを排除した上で、大量生産用の生産設備導入や新規製造工場建設に着手する予定であります。

3. 設備の概要

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
		総額 (千円)	既支払額 (千円)				
本社 (佐賀県鳥栖市)	遺伝子検査システムの 生産設備	100,000	14,077	増資資金 及び借入金	平成28年 7月	平成31年 3月	— (注) 2
本社 (佐賀県鳥栖市)	遺伝子検査システムの 新規製造工場	200,000	—	増資資金	平成30年 4月	平成30年 12月	— (注) 2

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 完成後の増加能力につきましては、その測定が困難であるため、記載を省略しております。

4. 今後の見通し

本件変更に伴う、平成28年12月期の業績に与える影響は軽微であり、平成28年2月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後当該設備計画に進展があり次第、必要に応じてお知らせいたします。

以上